

小川原湖自然楽校に入校しませんか

小川原湖自然楽校（代表 相馬 孝）では、20年度次のような事業を行います。小川原湖や小川原湖周辺の自然に興味があり、小川原湖でさまざまな自然観察や自然体験をしてみたい小学生、中学生とその保護者の皆さんの入校をお待ちしています。

回	事業名	実施日	事業の内容
①	春のブナ林観察会	5月18日（日）	（午前）小川原湖近くのブナ林の中で動植物の様子を観察します。
②	仏沼の野鳥と水生生物の観察会	6月22日（日）	（午前）ラムサール登録湿地の仏沼でオオセッカなどの野鳥を観察します （午後）仏沼周辺にどんな水生生物がいるか捕まえて調べます。
③	高瀬川カヌー下り	7月6日（日）	（午前）小川原湖から太平洋に向かって高瀬川をカヌーで下ります。
④	小川原湖の水草観察	8月未定	（午前）小川原湖の水草観察をします。マリモに出会うかも？
⑤	根井沼の浮島探検	9月7日（日）	（午前）いかだを組んで根井沼の浮島に渡ります。浮島が沈むかも？
⑥	小川原湖のヨット体験	9月28日（日）	（午前）小川原湖でヨットに乗り、沖に出て走らせます。
⑦	ツリーイングと環境ゲーム	11月9日（日）	（午前）体育館でツリーイングと環境教育ゲームをします。
⑧	まき投げゲーム クップ	11月30日（日）	（午前）まき投げゲーム、カップをします。
⑨	小川原湖の冬の野鳥観察	1月11日（月）	（午前）小川原湖でハクチョウやカモ等の冬の野鳥を観察します。
⑩	ワカサギつり	2月15日（日）	（午前）小川原湖か姉沼でワカサギつりをします。
⑪	ネイチャークラフト	3月9日（日）	（午前）仏沼のヨシを使った紙すきをします。

※ただし、内容や日程については気象条件などによって変更することもあります。活動中の映像を新聞等で使う場合があります。

1. 小川原湖自然楽校への入校の手続き

- ①入校を希望する人は、下記の申し込み用紙にて5月2日（水）までに、下記の小川原湖自然楽校連絡先に入校を申し込んでください。郵送、メール、電話・FAXとも可です。
- ②会員は小学校3年以上、中学生までの子ども30名（複数の兄弟も可）とその保護者となります。子どもだけの入校はできません。
- ③希望者多数の場合は、抽選にて会員を決め、結果を申込者全員に郵送いたします。
- ④会員に登録されると毎回の事業案内が郵送されます。出欠予定を事務局に連絡願います。



タイヤチューブいかだで浮島探検

2. 入校の条件

- ①11回の事業のうち、5回以上参加できる見込みがあること。
- ②会場まで保護者が子どもを送迎し、保護者も子どもと一しょに活動ができること。

3. 会費

- ①会費を1名につき年間3,000円を一括して徴収し、開催案内の郵送料、保険料などに使用します。その他、講師料や材料費など別途500円集金いたします。
- ②会費は、第1回の事業のときに徴収します。（第1回に参加できない方は第2回のとき）

4. 開催通知

- ①会員には事業の2週間前をめぐに（5月の第1回については登録し次第）詳しい案内を発送し、出欠の予定を把握します。

5. 安全の確保

- ①車で移動中の事故や活動中の事故については小川原湖自然楽校としては責任を負えません。ただし、活動に際しては、全員を保険に加入させます。また、野外活動のベテランが直接指導し、ライフジャケットの着用や注意事項の徹底など安全確保には最大努力をいたします。

6. この事業の参加申し込み先及び問合せ先

小川原湖自然楽校 代表 相馬 孝

〒033-0167 三沢市根井1-94-1

（根井団体活動センター内）

TEL : 0176-50-8611 FAX : 0176-50-8612

Email : s canoe@viola.ocn.ne.jp

※郵送、メール、電話、FAX、いずれかの方法でお申しください。

小川原湖自然楽校は、小川原湖をステージに子どもたちの自然体験活動を進める任意団体です。白神カヌー工房長の相馬孝氏を始め、様々な職種の人たちがメンバーです。現在、活動の充実を期して大人のスタッフを募集しています。特別な資格は不要です。子どもと一緒に野外活動してみたいという方は、左の問合せ先にご連絡ください。

切り取り線

小川原湖自然楽校入校申し込み

子ども名	学校名	学年	学校	年
	学校名	学年	学校	年
保護者名	住所	〒		
	連絡先(電話番号他)			

上記のほかにもキャンプなど様々な事業を行いますので、その都度連絡いたします。